

店頭から
「こんにちは」

第17回

目標を持つことから
再出発！

想像力・五感を働かせることが大切

宮川薬局(宮城県仙台市代表)
薬学博士 薬剤師みやがわとしじ
宮川季士先生プロフィール / 1976(昭和51)年、東北薬科大学卒業。78(同53)年、同大学大学院修士課程修了。87(同62)年、薬学博士学位。
地域に根ざしたおクスリ屋さんとして、多くのファンが。

季節の変わり目である5月。毎年、心身がついていけなくなる、5月病が多くなってくる時期でもあります。まずは、原因を知って、対応することが重要です。

眉間のしわでも気づく

先日来られた男性——。昔から、おつき合いのある方で、店に入って来たときから、様子が変だと分かりました。スポーツマンで、世界大会まで行った方ですが、眉間にしわを寄せ、いつもとは違うオーラが。

「心臓がおかしく、胸が圧迫されるとい主訴でしたが、脈拍と血圧は正常です。

のどに詰まる感じがあって、咽喉がんかとインターネットで調べてみると、症状が似ていて、ごはんも、のどを通らなくなったといいます。

そこまでお聞きして、私は神経症を疑いました。耳鼻咽喉科で、ファイバースコープ

による検査をしてもらったところ、案の定、がんの兆候も、ポリプもなし。

ただし、逆流性食道炎があるので、胃酸を抑えるおクスリが処方されていました。

性格的に神経を使う人には、多かれ少なかれ、逆流性食道炎は見受けられます。どうして、原因を逆流性食道炎ということにして、神経症を疑わなかったのでしょうか。

仕事は楽しくしよ

お話をさらに聴いていくと、3年前、お父さまが亡くなって、遺産相続問題があり、姉弟でもめているとのこと。

また、認知症のお母さまが、老人保健施設から特別養護老人ホームに移ったけれども、

不安のため、1日に20回くらい電話が来るそうです。

さらに、休日でも、携帯電話に、仕事上のお客さまから電話が入るのではないかと、帰宅したらしたで、お客さまから苦情のFAXが来ているのではと——。

こういうことは、誰にも聞いてもらえず、病院へ行っても、話をゆつくりと聞いてもらえず、安定剤を出されて、「はい、診察おしまい」。

これでは、治るわけがありません。

患者さんの全体を見て、想像力・五感を働かせ、隠れている何かを引き出してくれる医師にめぐり合えばよかったのですが……。

ともあれ、現役をとづくに

卒業した、ベテランのためのスポーツ大会が、毎年、開催されるそうです。そこで、長年使ってきた道具を磨いて、準備万端に。

ただ、試合中の攻め方を、頭の中では組み立てられるものの、実は運動不足で、からだがついていけない……。

何とか順調に勝ち進んではみたものの、元全日本のチャンピオンと対戦、負けてしまつて7位入賞止まりに。

お金と暇、情熱があるベテラン選手の場合は、世界ベテラン選手権大会にも出たりするそうです。ただ、この方は、情熱はまだあるのですが、お金と暇がないといえます。

そこで、私は、「その世界選手権へ行くことを目標に、毎日楽しく仕事をしましよー！」と、お伝えし、見守るようになっているのです。